

■第10回神戸市地域公共交通活性化協議会 議事要旨

【開催日時】令和5年3月23日（木）10:00～12:00

【開催場所】三宮研修センター 7階 705会議室

【出席者】委員29名（欠席6名）

【議事（主な意見交換の内容）】

議事（1）フィーダー路線バス補助に伴う神戸市地域公共交通計画の変更案

<事務局より、資料3と4について説明>

（意見なし）

議事（2）神戸市地域公共交通計画の進捗

<事務局より、資料5と6について説明>

<各交通事業者より、資料7と8について説明>

<事務局より、資料9について説明>

○扇タクシー 成川委員

- ・JR三ノ宮駅の新駅ビル工事に伴って、今年の年末頃から駅南側のタクシー乗り場が東寄りの所に移ると聞いた。ただ、ある程度の規模でないと、利用者にとって不便になってしまうので、検討をお願いしたい。

○神戸市都市局都心再整備本部 松本委員

- ・今回の移転についても関係者と協議を行っているが、今後、様々な状況を踏まえながら調整していきたい。

○神戸大学 正司委員

- ・数値目標のバス停留所のベンチ新設数について、神戸市交通局がR5年度以降に積極的に取り組むということで、良かった。
- ・数値目標の地域コミュニティ交通に対する支援地区数が増えてきていることも良かった。資料に掲載はないが、地元で色々と動いている地域もあるかと思う。この数値目標の定義を教えてほしい。
- ・三宮の新たなバスターミナルについて、様々な制約の上で現状の計画になっているが、是非ともより使いやすい形に変えてほしい。バスターミナルへの動線上、民間ビルを活用する場所が生じているが、民間ビルには営業時間という制約があるため、特に車椅子関係についてどう対処するのか、検討課題だと思う。
- ・デジタルサイネージやモビリティマネジメントについて、進捗はどうか。

○事務局

- ・地域コミュニティ交通に対する支援地区数の数値目標の定義は、地域公共交通計画の策定前に支援に着手しており、策定後も継続している、もしくは継続していたという地区である。

- ・デジタルサイネージについては、R4年度以降、実証実験的にJR元町駅やメトロこうべ中央広場、地下鉄長田駅の3個所に設置している。広告収入でランニングコストが賄えるか等を検証中である。
- ・モビリティマネジメントについては、地域コミュニティ交通の支援の中でも、地元の方との勉強会等に取り組んでいる。また、移住促進の観点等、幅広く内々の検討も含め取り組んでいるところである。

○神戸大学 織田澤委員

- ・数値目標の進捗を管理することは非常に望ましいが、コロナの影響で達成が難しい目標も出てきているかと思う。例えば、バス停留所のベンチ新設数はコロナでずっと止まっているため、合理的に目標を設定し直してはどうか。
- ・市民満足度について、数値が上がらない要因を分析しているか。KPI（重要業績評価指標）の設定上、この市民WEBアンケートを使用することがいいのかという問題ではないか。例えば、普段、公共交通を利用している方の満足度はどうか。コロナの影響で外出を控え、公共交通から自動車に転換した人たちは満足度をなかなか実感できないため、今度はそういう人たちに公共交通を利用していただくという別の問題になってくるかと思う。
- ・神戸市交通局の方で、利用状況を踏まえた市バスのダイヤ改正や増便、廃止を行ったということで、他事業者の方々も含めて、廃止された路線が他にもあるのか、廃止された路線にはその後の手立てを講じているのかを教えていただきたい。

○事務局

- ・バス停留所のベンチ新設数について、令和2年度の間見直しを経て、策定時のままとしている。R5年度以降、神戸市交通局におけるバス停ベンチの新設により、数値目標は達成できる見込みになったと考えている。
- ・市民満足度については、何かの施策に直結しているという単純な話ではないと思っている。次の議題で説明予定の市民WEBアンケート調査結果においても、例えば居住区によっては市民満足度の傾向が異なるため、そういった検討をしっかりと行っていきたい。

○神戸市交通局 児玉委員

- ・バス停留所のベンチ及び上屋の設置について、これまで設置基準はバスの利用者数により判断していたが、まちづくりの観点で考えると、バス利用者以外の通行者や近隣住民もその利用の対象になるのではないかと考え、設置を進めるものである。設置可能な場所は300箇所程度で数年に分けて実施していきたい。
- ・廃止した路線は、東灘の石屋川から水道筋、王子公園、三宮を通過してウォーターフロントの中突堤まで運行していた。石屋川から三宮までは別系統があり、三宮から中突堤までは神姫バスのポートループが本格運行を始め、路線がほぼ重なるため、一元化するという趣旨で廃止と決定した。市バスの定期券で神姫バスのポートループを使用できるサービスも開始した。

○神戸市自治会連絡協議会 堂内委員

- ・石屋川からの路線については今まで不便であったが、今回の見直しの影響で便数も多くなり、時間帯も利用しやすくなり住民には喜ばれている。
- 国土交通省近畿運輸局交通政策部 酒井委員
 - ・兵庫県タクシー協会において、地球温暖化対策としてハイブリッド車やEVなどの導入促進に努めるということであるが、事業者からの要望内容についてお伺いしたい。
- 兵庫県タクシー協会 下谷委員
 - ・現在UDタクシーに関しては要望調査で聞いているが、それ以外の車両については聞いていない。購入意向についても、今のところ確認していない。
- 兵庫県土木部 奥藤委員
 - ・地域コミュニティ交通の支援について、県の方でもデマンド運行であれば実証運行の時点から、例えばシステムの導入など支援できる制度もあるため、良ければご活用いただきたい。
- 神戸大学 小谷委員
 - ・鉄道駅バリアフリー料金制度について、各社で計画に従って進めているため、是非それらを取りまとめた上で、全体としての進捗状況を見えるような形で報告していただければありがたい。

議事（3）市民WEBアンケート結果の報告

（4）神戸市地域公共交通活性化WGの報告

<事務局より、資料10について説明>

<神姫バス 佐藤課長より、資料9について説明>

- 神戸大学 正司委員
 - ・神戸市地域公共交通活性化ワーキンググループについて、開催回数も多く、非常に熱心に議論いただいている。行政と交通事業者が上手く連携できているようで、非常に素晴らしい。是非、次年度以降もこの形で頑張っていただきたい。
 - ・北神急行の市営化について、多くの方に認知され、便利になったと実感されている。そうすると満足度も上がっている。逆に言うと、目に見えて便利だと感じるほどの大きな変化がなければ、アンケート結果としてなかなか変わらないのではないかと。もっと市民が便利になったと感じる機会があれば良いと思った。
- 神戸大学 織田澤委員
 - ・市民満足度と居住地とのクロス集計で見ると、最も便利な中央区の満足層が67.1%ということで、数値目標である市全体の65%はかなり手ごわい数値目標を設定しているのではないかと。間違っても事業者の取り組みが効いていないなどという評価ではないということ、きちんと市民の皆様にも理解していただけるよう、報告書レベルで説明する必要があるのではないかとと思う。

- ・市民満足度と年齢とのクロス集計が面白く、何らかの解釈ができるのではないかと。15歳から19歳は比較的満足度が高く、20代や40代がかなり不満を持っており、高齢者はそれほどでもない。この辺りを何か深度化できたら面白い。

○神戸大学 小谷委員

- ・神戸市地域公共交通活性化ワーキンググループについて、是非、成果内容を公表していただきたい。この協議会の良さは、各事業者の報告の中でも言及されていたが、事業者の皆さんが連携して様々な取り組みを行っていただいているということにある。
- ・アンケートの結果も然りだが、今後の政策を考えていく上で、やはりデータを活用して方向性を見出していければと思う。

○事務局

- ・満足度の目標については、現状よりも上げることを目指すということで、高めに設定している。もちろん、設定して終わりということではなく、その結果や影響要因を詳しく分析していきたい。今年度から、元の公共交通課と、企画調整局のデータ分析やビッグデータの活用などを担当していた部署が合併し、現在の交通政策課に再編されている。データを活用し、どのようなことが満足度に影響しているのか、利用促進に繋がっていくのかなどを分析していきたい。